

津波災害

津波の被害から逃れるために、とにかく高台の安全な場所へ逃げるようにしましょう。

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報)	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m < 予想高さ)	巨大	<ul style="list-style-type: none">木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 ※東日本大震災のような巨大な津波が襲来するおそれがあります。
		10m (5m < 予想高さ ≤ 10m)		
		5m (3m < 予想高さ ≤ 5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m < 予想高さ ≤ 3m)	高い	<ul style="list-style-type: none">標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m < 予想高さ ≤ 1m)	(表記なし)	<ul style="list-style-type: none">海岸付近にいる人や、海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海岸から離れてください。海の中では人は、速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。

避難時の心得

● 高い場所へ速やかに避難する

より高い場所へ、より海から遠い場所へ速やかに避難しましょう。



● なるべく徒歩で避難する

車では渋滞や危険を招く可能性があるため、なるべく徒歩で避難しましょう。

● 河川や海岸には、近づかない

地震の発生や、津波の警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている方は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。

● 正しい情報を入手する

防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。